

平成 28 年 1 月 27 日



# あらいきた

妙高市立新井北小学校

## 見通しをもって計画的に

校長 相浦 美子

「1月行く、2月逃げる、3月去る」と言いますが、本当に時の流れの早さを実感しています。3学期の授業日数は52日ですが、すでに40日を切りました。6年生の教室にも「卒業まであと〇日」と表示され、子どもたちの心も卒業モードに切り替わってきましたようです。

3学期はまとめの時期です。1月末に行われる学力テストに向けて、子どもたちは目下、学習のまとめに励んでいます。また、なわとび大会や6年生を送る会、そして委員会の引き継ぎなど、学校行事も目白押し。4年生も部活動に参加し始めました。3学期は短期間ではありますが、やるべきことはたくさんあります。子どもたちが、見通しをもって、計画的に物事を進め、充実したまとめの時期を過ごしてほしいと、自戒もこめながら願うところでもあります。

## 老いてもなお感動！

### ましていわんや純粋な子どもたち

昨年暮れ、念願かない、初めて歌舞伎をみる機会を得ました。これまで見たことも聞いたこともなく、「縁のない世界」だったのですが…。幕が開き、イヤホンの説明を聞きながら、およそ3時間。いつの間にか、役者の芸にひきこまれていきました。女形（玉三郎）の美しいしぐさは圧巻でした。お正月には、テレビで歌舞伎の観劇をしました。「縁のなかった世界」が、「興味ある世界」に変わっていることに気付きました。

妙高市の教育は、「本物体験」を大事にしています。座学だけではなく、実際に触れて感じて考える体験をとおして学ぶことを重視しています。私も、子どもたちには、美しいもの洗練されたもの、クオリティーの高いものに、幼いときから触れさせることがとても大切だと思っていました。感動を伴った実体験が子どもの感覚や感情、感性を刺激し、その子どもの世界を広げたり深めたりして変えていくのです。その時は理解できなくても、触れた体験と記憶はちゃんと子どもの心に残るのです。子どもだから、この程度でいいのではなく、純粋な子どもだからこそ、本当にいい「もの・ひと・こと」に出会わせてやりたいと願います。

今年は、新井北小学校の百周年という節目の年です。子どもたちが、自分の学校や和田地区、そしてここに生まれ育つ自分自身に自信と誇りを持てるような感動ある本物体験を周年行事の中で実現させたいと考えています。保護者の皆様、和田地区民の皆様からも、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



今年は、「百周年行事の成功」を祈念し、5年生の野口雄太さんが代表で目を入れてくれました。

## コミュニティ・スクールの学校運営協議会とは？

コミュニティ・スクールでは、学校運営協議会を設置しなければなりません。学校運営協議会の主な役割は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5」に定められています。

### ※ 役割 ※

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること

など

学校が抱える課題は多種多様であり、その課題の解決や未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、保護者のみなさんを始め、地域住民、各種団体等が集まり、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。

現在の子どもたちの教育環境を取り巻く状況は、いじめ・暴力、外国語教育、アクティブラーニング、ICT・情報化などの教育界の動向だけではなく、人口減少の進行や地域社会のつながりや支え合いの希薄化、児童虐待の増加、貧困問題の深刻化、子どもの規範意識や社会性等の課題など社会の動向とも密接に関わっているといわれています。

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会での話し合いを中心に、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決し、元気いっぱいの子どもと地域にもわかる教育の実現を図っていきます。



## 学校運営協議会では何を協議するの？

コミュニティ・スクールに指定された学校には「学校運営協議会」が設置されます。教育委員会から任命された委員（保護者や地域の皆さんなど）が、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりすることで、一定の権限と責任をもって参画します。また、学校や地域の課題解決に向けた協議も多くの学校で行われています。

いくつかの部会を組織し、学校支援活動の実施方法について協議したり、学校関係者評価を学校運営協議会の中で実施している学校もあります。



今回は、コミュニティ・スクールの取組で広がる魅力についてお話いたします。

## 第2回保護者・児童学校評価の傾向から

12月に保護者の皆様から学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。その中で「満足、おおむね満足」と思われる項目は次のものでした。

お子さんは楽しく学校に通っていますか。	97.6%
お子さんは誰に対しても思いやりをもって生活していますか。	91.7%
お子さんは、友達と仲良く遊んでいますか。	95.9%
保護者のみなさんは、家庭や地域であいさつをしていますか。	98.8%
保護者のみなさんは、PTAや地域の会合等に参加していますか。	91.1%
学校は、いじめのない学級、学校づくりをしていると思いますか。	92.4%
学校は、親切・丁寧な対応をしていますか。	95.3%

反面、保護者の皆さんの目から見て「まだ」と思われる項目は次のものでした。

お子さんは、決められた仕事やお手伝いをしていますか。	58.9%
----------------------------	-------

児童評価で、「はっきりハイ」と回答できた項目は、次のとおりでした。

学校生活は楽しいですか。	78.3%
仲間はずしやいじわるをせず、友達と仲良く活動しましたか。	73.4%
体育の時間に友達と協力して運動していますか。	73.6%

反対に、「はっきりハイ」と答えにくかった項目は、

先生や友達の話「をしっかり聞く」ことができましたか。	47.2%
先生や友達に「はっきり話す」ことができましたか。	42.9%
宿題や自主勉強などに進んで取り組みましたか。	48.6%
自分から元気よくあいさつしましたか。	46.7%
相手の気持ちを考えながら話すことができましたか。	43.9%
布団に入る時刻を守っていますか。	41.0%

この結果を受け、3学期は次のことに力を入れて取り組んでいます。

知 (学習)	授業で児童に力をつけるために・・・「動きを止めて静かに考えながら聞く」態度の形成。基礎基本の定着。宿題・自主学習の出し方の工夫。授業の流れが分かる黒板の書き方。ペアやグループなどの活動を取り入れた「発表し合う、話し合う」時間の確保。
徳 (心)	「よいあいさつ」を意識する、活性化する取組の企画。規範意識の醸成（廊下歩行や体育館・特別教室の使い方）。降雪期における下校時刻の徹底（下校時刻の一緒の学年による集団下校、課外活動終了後は地区ごとにまとまって下校）。
体 (健康)	なわとび大会を契機とした冬場の運動機会の確保。布団に入る時刻が守れるようにするための意識づけ（メディアはなまる集会による呼びかけ）。生活チェック週間におけるメディア接触コントロールの児童・保護者への呼びかけ。

子どもたちの好ましい成長に向け、3学期の教育活動が充実したものになるように努めていくとともに、1年のまとめをしっかりとしていきます。お気づきのことがありましたら、気軽にお問い合わせください。

## 降雪期の避難訓練・・・1月20日(水)3限

「2階の理科室から出火」の想定で、降雪期の避難訓練を行いました。また、避難経路である中央階段の「防火扉」も使用してみました。第二避難場所である隣接の「松新寮」に避難完了するまでに5分46秒とかかりました。



避難扉を通過するのに渋滞となり、時間がかかってしまいましたが、実際に火災が発生すると避難扉が自動的に閉まるので、「その中をどう円滑に避難するのか」ということを、改めて気付かされた訓練となりました。

## 給食週間・・・なかよし班給食・・・1月21日(金)

給食は明治22年にはじまりましたが戦時中中断され、昭和21年12月24日に再開されたそうです。1月25日～29日まで、「全国学校給食週間」として定められていますが、当校は1月18日～22日



【21日の献立・・・福井県の「ソースカツ」と「こじわり」】

まで給食週間でした。献立に日本各地の郷土料理が登場したり、調理さんにお礼のメッセージをかいたりして、食事の大切さや感謝して食べることに興味関心を高め、21日は、なかよし班で給食を楽しみました。

## 2月の主な予定

- 1日(月) 校内版画展
- 2日(火) 1年発表朝会
- 3日(水) 豆まき集会、メディアはなまる集会
- 4日(木) なかよし班遊び
- 8日(月) 3年校外学習(妙高青少年自然の家)
- 10日(水) なわとび大会、PTA専門部反省会
- 12日(金) 高学年スキー教室
- 15日(月) がんばり週間
- 17日(水) 委員会、チャレンジクラブ
- 18日(木) 移行学級
- 19日(金) 中学年スキー
- 22日(月) 国語力・算数力テスト週間
- 23日(火) PTA新旧引き継ぎ会
- 24日(水) 5年自然教室～25、2年雪上体験(妙高青少年自然の家)  
委員会、チャレンジクラブ(最終)
- 29日(月) 学校評価者委員会

